教材分析シート

（　６　）年（　月　）組　授業者（　近藤　晋平　）

教材名　おばあちゃんの心　（文溪堂）

内容項目　家族愛　家庭生活の充実　C（15）

ねらい　「私」が祖母から受ける無償の愛に気付き成長する姿を通して、家族を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役立とうとする道徳的心情を育てる。

① 主人公（道徳的に最も大きく変容した人物）

私

② 助言者（主人公の変化に重要なヒントを与える人・モノ）

おばあちゃん（祖母）

③ 場面分け（主人公を主語にして分ける）

Before（道徳的な変化前）	「私」は、ぐち一つこぼさないで働く祖母を見て不思議に思っていた。
助言者の登場	「私」があらじるを返したことで、祖母の顔は、今まで見たこともないような、さびしい顔に変わっていった。
転（道徳的変化）After（変化後）	「私」は、祖母が働くのは、家族への愛情からだと気付き、心の中で「ありがとう」を言うようになった。

④ 一文読み（要約）

夕食時の祖母とのやりとりをきっかけに、主人公の「私」が、祖母から受ける家族に対する無償の愛に気づき、家族を敬愛する気持ちを深めていった話。

⑤ 発問（３種類の質問）

Beforeの発問（道徳的問題を明らかにする）	→内容理解の発問「主人公の道徳的問題は何か？」
補助発問	この出来事がある前の私は、どんなことを考えて生活していたでしょう。
「転」又はAfterの発問（主人公の気づきに迫る）	→中心発問「主人公は何に気づいたのか？」 私があらじるを作るたびにあの出来事を思い出し、心の中で「ありがとう」を言うようになったのはどうしてでしょう。
補助発問	祖母の姿がしるわんの中でぐるぐる回りしているのが見えてきたときの「私」はどんなことを考えていたでしょう。
価値追求の発問（道徳的価値をおさえる）（テーマにかかわる発問）	→おさえの発問（「〇〇って何だろう？」、手紙、ふり返り等） 自分と家族について、今考えていることを書きましょう。

Idea proposed by 杉中康平先生（四天王寺大学）